

ウィキペディア

フリー百科事典

龍雲寺 (浜松市)

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

龍雲寺（りょううんじ）は、静岡県浜松市西区入野町にある木寺宮康仁親王が創建したとされる臨済宗の寺院。山号は西湖山。本尊は阿弥陀如来。開山は春屋妙葩。

学校法人常葉学園創立者は同寺の出身であり、現在の住職は創立者のひ孫にあたる。ただ学園と寺は直接的な関係はない。

庭園は、第一世650年遠忌に合わせ北山安夫により造園された。ダウン症の天才書家とされる金澤翔子により世界一大きい般若心経が平成29年に奉納された。

歴史

伝承では、南北朝時代に後二条天皇の皇孫で光厳天皇の皇太子である木寺宮康仁親王が京より下向し、現在の龍雲寺東墓地付近に居を構え、南西に龍雲寺、北東に六所神社を建立したとされる。ただし、康仁親王が京都付近で没したことが『園太暦』に記されているため、この説は伝承の域を出ない。

木寺宮家は入野地方を治めていたが、三方ヶ原の戦いの際、春屋妙葩が甲斐の慧林寺出身である縁により、武田方の味方をしたため、徳川家康に攻められ、全山が焼失。この際、宮家は信濃を抜け、越後に落ち延びたとされる。

元禄年間に再興される。現在の本堂はこの再興当時のもの。

1946年に、龍雲寺出身の木宮泰彦が常葉学園を設立する。

平成25年に、北山安夫により、境内整備がすすめられ、無量寿庭・清浄庭が造園される。

りょううんじ
龍雲寺



本堂と無量寿庭

所在地	静岡県浜松市西区
位置	北緯34度42分8.7秒 東経137度41分18.1秒
山号	西湖山
宗旨	臨済宗
宗派	妙心寺派
寺格	準別格地
本尊	阿弥陀如来
創建年	1330年代
開山	春屋妙葩
開基	木寺宮康仁親王
札所等	浜名湖岸88ヶ所霊場 41番札所
文化財	阿弥陀如来坐像
法人番号	7080405001182 (https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-joho-to.html?selHouzinNo=7080405001182)



Wikimedia | © OpenStreetMap

平成29年に、金澤翔子により、世界一大きい般若心経他が奉納され、毎年展覧会が開催されている。

文化財

- 木造阿弥陀如来坐像 - 浜松市指定有形文化財、平安時代後期作^[1]

脚注

- ↑ 浜松市文化財情報Vol.10（市公式サイト）（[http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/quare/intro/bunkazai/info/info_11.htm](http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/square/intro/bunkazai/info/info_11.htm)）

外部リンク

- 龍雲寺ホームページ (<https://www.ryouun.com/>)

「[https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=龍雲寺_\(浜松市\)&oldid=96707620](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=龍雲寺_(浜松市)&oldid=96707620)」から取得

-